# 事 務事業評価表

1~11までは、担当課による評価

記入年月日 平成15年3月17日

平成15年度	事業コード	36110	36110 電話		042-769-8212		
担当部課名	企画部    ▼	情報システム課	課  ▼	情報化推進	班 ▼		
事務事業名		地域情報化	Y.経費				

### 1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第	6	章	高度情報化への対応を図ります	事業開始年度
基本施策名	第	1	節	節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進	
施策名	第	1	施策	情報通信メディアを活用した行政サービスの推進	7 <b>▼ 年度</b>

#### 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市高度情報化整備推進計画(平成4年3月策定)

## 7 事業概要

## (1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか

(2)対象(誰、何) E 市民、施設利用登録者

快適で利便性の高い市民生活を支援するため、本市が保有する市民向けの様々な情報を 一元的に提供すること、及びスポーツ・宿泊施設利用、生涯学習施設や公民館等の利用 の利便性の向上を図る。また、こうしたサービスを実現するための利用メディアについ ては、市民の誰もが利用できることを目指す。

対象 612,000人

#### (3)平成14年度事業の内容…市が実際に行った事業の内容

生活に密着した情報内容の充実(保健所のガイド、子育で関連ガイド等)

職員のホームページ作成スキルの向上を目的としたホームページ作成研修の実施(年2回、各80名)

NTTドコモの携帯電話機能(iモード)で可能な施設予約機能を他メーカ(EZWEB, J-sky)の携帯端末からでも実現出切るようにシステム改良し、より一層の利便性を図った。

インターネットからの施設予約にセキュリティー向上のためSSL(セキュア・ソケット・レイヤー)暗号化通 信を導入した

地域情報化経費 70,924千円

 (4)個別計画の概要
 概要

 計画名
 年度~

### 8 評価指標…事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	扌	旨標の	推移(	年度)	)
	利用件数の増	本年度利用件数÷前年度利用件数×100	対象者がシステムにどの程度	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
成果指標	減率	T 9X	アクセスしているか、システ ムの有効性を量る。	106	165	135	110	110
活動指標	各課ホーム ページの 「html」への 移行	html化されている課÷全課数 (141)×100	各課のホームページの 「HTML」化を進めることで、 より一層のインターネットで の情報提供の充実を図る。	0	25	32	90	100

#### 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決 算	決 算	決 算	予算	予算(見込み)
事	決算(予算)額	234,605	257,271	70,924	74,846	75,000
	人員・時間数	2	2	2	2	2
業		16,780	16,780	16,780	16,780	16,780
١	その他経費					
費	合 計	251,385	274,051	87,704	91,626	91,780
!	特定財源					
	対象数	607,515	612,756	616,827	623,755	627,999
対	象の単位あたり経費	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1

10 1	個別	評価
------	----	----

10 個別評価										
(1)達成度	A:達成している		・成果指標の達	成度	V	高		中		低
評 価	B:一部達成していない	チェック 項目	・活動指標の達	成度		高	V	中		低
B ▼	C:達成していない		・事業目標の達	成度	V	高		中		低
		説明	システム利用業況でき、成果指標の3 考慮し、今後改善	達成度は高	高い。情報	促提供に'	加しており、 ついては、 fl	今後も増 青報内容の	加するとう	予測することが l用しやすさを
(2)必要性	A:適応している		☑・市民やネ	上会のニー	-ズにか	なってい	1る			
	B:一部適応していない	チェック	▼ ・状況の変	化(対象	や内容	に対応	している			
評 価	C:適応していない	項目	口 · 当初設定	€した事業	(目的が	達成され	ていない			
A <b>▼</b>							から見て、ア			-
		説明	生活に必要な情 応している。予約 話からもサービス	]システム	について	ては、現行	行のメディ	アに加え、	複数メー	
(3)有効性	A:有効である	チェック項					に有効で		•	
評 価	B:一部有効でない	目	✓ ·期待され	た成果が	得られて	ている				
A <b>▼</b>	C: 有効ではない	説明	当該システムは、 なるシステムであ							
(4)効率性	A:優れている		☑・予算や人	員に見る	合った効	果が得ら	られている			
	B:一部改善の余地がある	チェック	□・他市と比	べてコス	トや効率	性が優ね	れている			
評価	C:改善の余地がある	項目	□・他の類似	よ事例と比	ンベてコス	ストや効薬	軽性が優れ	っている		
A <b>▼</b>			□ ·同一対象	き者に対し	て同種	のサーヒ	これが重複	していない	, 1	
_		説明	申請書の配信を り、紙などのコス た場合、運用コス	トの削減は	こもつな	がる。予	約システム	を職員の	手で行う	ことを想定し
(5)公平性	A : 公平である		☑ ·対象者と	非対象者	さの不な	公平·不	均衡は、妥	当な範囲	目である	
評価	B:一部公平でない	チェック項 目	□ ·受益者の費用負担は適正である							
A <b>▼</b>	C:公平でない						や所得等			
		説明	情報提供及び施 みではなく、街頭 を受けられるよう	頭端末機な 配慮して	や電話、 おり、不	F A X、携 公平·不	携帯電話な 均等は認め	ど複数の められない	メディアカ	
成果向上の名				事業費削			)得る手段			
☑ ある □ ない	説明: 市民がさらに利用し の導入やwebアクセ ジャルページを日生	セシビリティ!	こ留意したペー	手段	を他社		討すること			信回線費用 をおとさずに
	すいページを目指	9 .		削減額					3,292	千円
11 総合評価										
			対似事業とのと							
評 価			丘隣都市のインター 情報検索、図書作							

	щ	
評価		他目治体の類似事業との比較 県内及び近隣都市のインターネットでの情報とサービスの提供内容を比較すると、施設案内、 病院案内、情報検索、図書館検索、意見募集などの情報提供や各種のメディアを利用した施 設予約システムなど他市に劣らないサービスとなっている。
┃   今後	の進め方	
⊽	継続	
IV.	MEL MOU	総合評価に関する説明
		情報提供及び公共施設予約を行うためのシステム運用も大きな問題なく進行しており、 市民サービスの利便に供している。利用メディアについても電話、FAX、街頭端末、
	廃止	インターネットに加え、携帯電話でのサービスを開始したことで、市民が利用すると考えられるメディアに十分対応したシステムとなっている。情報提供については市民が
	完了·廃止済	もっと見やすく、使いやすいホームページに改良を加え、更に充実したサービス内容の さがみはらネットワークシステムの実現を図る。

## 12 二次評価コメント